



スクールレポート

SCHOOL REPORT 37

学校生活の
一コマを紹介

今回は、中学校での親子ふれあい活動の様子と、飼育活動を通して命の教育を進める小学校の様子をお知らせします。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

福江中学校「親子ふれあい活動」

「ふれあい、で親子の絆を深めよう！」

福江中学校では、毎年5月に各学年で「親子ふれあい活動」を行っています。

今年度は、1年生が親子共同のレクリエーションを体育館で行い、2年生と3年生は、それぞれ福江小学校体育館と渥美運動公園屋内競技場で、エンカウンターを取り入れた親子ゲームを行いました。中学生になると、親子で触れ合う機会が少なくなりますが、この活動をきっかけに家庭での親子の絆を深めています。参加した保護者からは、「来年はもっと子どもと楽しめるものがやりたい」など、意欲的な意見が寄せられています。この行事が好評なのは、PTA学年委員の皆さんが中心となり、企画運営をしているおかげだと思います。これからも、伝統的な行事の一つとして続けていきたいと考えています。

※エンカウンター…カウンセリングの一形態。作業・ゲーム・討議をしながら、心のふれあいを深めていく方法。



●子どもたちの大きくなった背中を実感



●親子で一緒にフラフープリレーに挑戦！



●毎日きれいに掃除をしています



●みんなでウサギを優しく抱っこ！

童浦小学校「飼育活動」

命を大切にする心を育てよう！

童浦小学校では昨年度、「魅力ある学校づくり事業」で、ウサギと鳥を飼育する「みやま小屋」を整備しました。

動物たちの飼育当番は4年生です。世話を始めたばかりの4月は、動物を怖がって近づけない子もいましたが、慣れてくると餌やりや掃除などを手際よくできるようになりました。毎日世話をするのは大変ですが、命ある動物を育てる経験は、子どもたちにとって大切なことだと思っています。

3月には、ウサギに待望の赤ちゃんが2羽生まれました。4年生の子どもたちが、小さな命を守ろうと大事に世話をしてくれたおかげで、順調に育っています。「みやま小屋」には、低学年の子も入って、4年生にウサギの抱き方を教えてもらいながら、楽しそうに動物と触れ合っています。飼育活動を通して、子どもたちに命を大切にする心が大きく育っています。